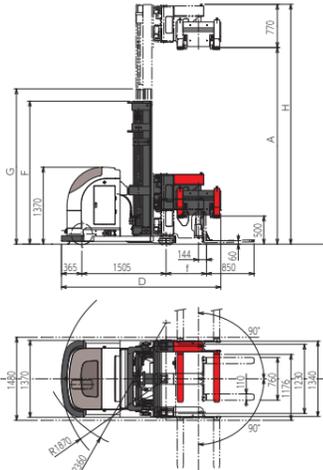


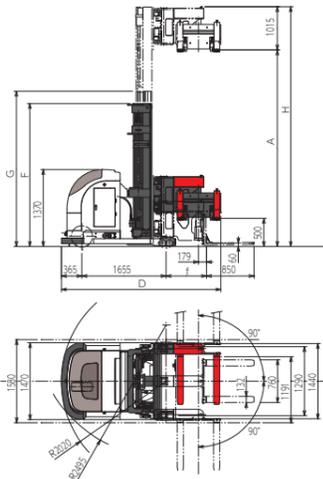
RACK FORK AUTO

ラックフォークAUTO 二面図

RFTL10-MG80LA



RFTL15-MG80LA



無人フォークリフト LINE UP



■製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
 ■このカタログの内容は2024年9月現在のものです。
 ■京都工場並びに滋賀工場、安土工場はISO9001およびISO14001の認証を取得しています。

Logisnext

三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1 TEL.075-956-8688

www.logisnext.com/jp

販売店

5000/2408(TW)90S192-2

Logisnext

Logisnext Solutions

レーザー誘導で走行ルート
無限大∞

レーザー誘導方式無人フォークリフト

RACK FORK AUTO

ラックフォーク オート

〈1.0t~1.5t積〉



床面工事が不要

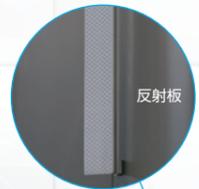
走行レイアウト変更が容易

工程間搬送 保管作業の 自動化

高層ラックでの入出庫作業を自動化
最小通路幅での3方向荷役で
スペースを有効活用

レーザー誘導方式無人フォークリフト RACK FORK AUTO

ラックフォーク オート



※写真はオプション装着車です



ご紹介ムービーはコチラから

三菱ロジスネクスト レーザー誘導方式AGFの特徴

- 1 床面工事が不要（既設や賃貸の工場・倉庫に最適）
- 2 稼働を止めずに設備導入（工期短縮）
- 3 オペレーションの変化に柔軟に対応できる（レイアウト変更、役割追加、増車、減車など）
- 4 独自の複数台運行制御システム **Route Optimizer** の採用で生産性が向上

レーザー誘導で走行ルート 無限大∞

レーザー誘導とは

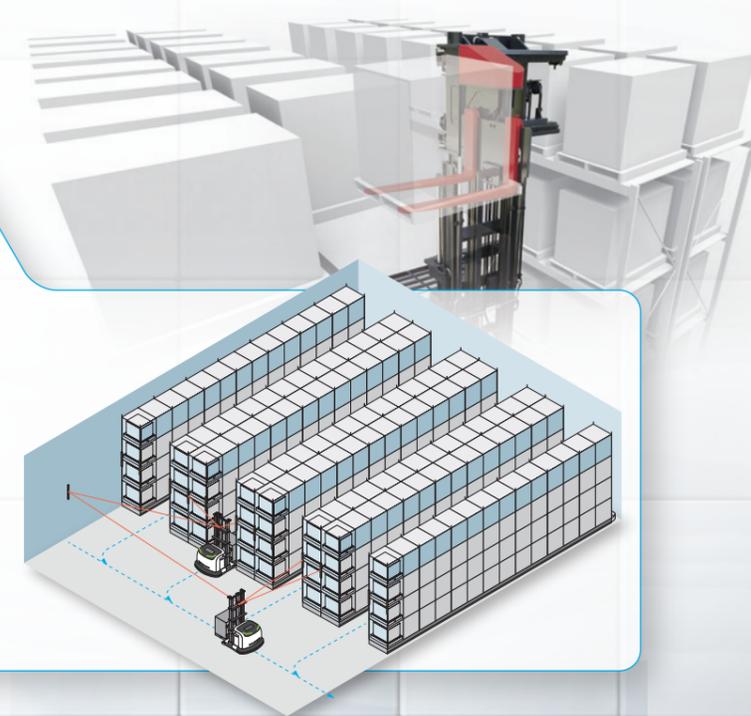
AGF上部のレーザー scanner で反射板をスキャンし、
車両の現在地を認識して走行する技術です。



レーザー誘導だから

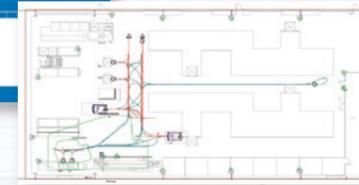
床面工事が不要

走行レイアウト変更が容易



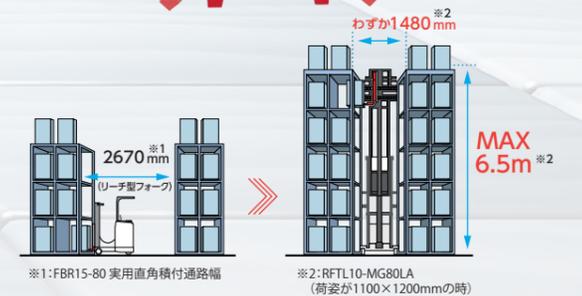
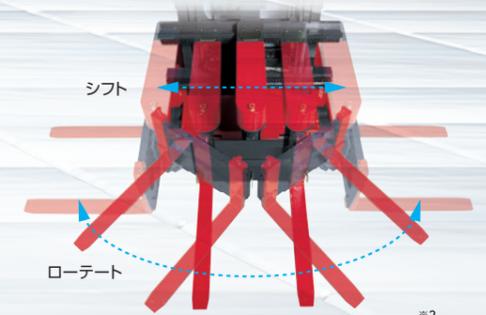
Route Optimizer ルート 最適化システム

運行管理端末に登録した複数の稼働指示に従い、レーザー誘導方式ラックフォークを複数台同時に稼働させる制御システムです。独自の運行制御技術により、限られた空間で、それぞれが最適ルートを選択し作業の効率化を図ります。



わずか1480mmの通路幅で 3方向の荷役が可能

車体の向きを変えずに、左右前方の3方向の荷役が可能となるのでリーチ型フォークリフトと比較して通路幅は大幅に減少。さらに揚高は最大6.5mまで対応できます。



一目でわかる操作画面

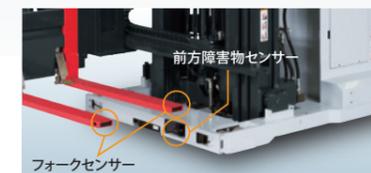
車両の状態を画面に表示します。



無人運転時の安全性確保

前方障害物センサー

前方の障害物を検出し、減速または停止します。



障害物バンパー (サイド部はオプション)

ソフトバンパーで障害物に接触すると停止します。



方向指示器

走行中の進行方向側にLEDライトが点滅して注意を促します。

